

# 御堂筋の会

Midosuji no kai

私たちは、ミナミ御堂筋の沿道企業体です。

# 定例会ニュース

(2021年10月)

「ミナミ御堂筋の会」は、ミナミの御堂筋沿道の不動産オーナーが連携し、「世界の御堂筋」をめざして、まちのあり方を提案し、実現に向けて働きかける団体です。

vol. 65

## 1. 社会実験「御堂筋チャレンジ2021」

社会実験「御堂筋チャレンジ2021」の企画・検証内容等について、事務局より説明しました。

### 社会実験「御堂筋チャレンジ」企画（案）

昨年実施の社会実験「御堂筋チャレンジ2020」の内容を踏まえ、

- ▶ 歩道拡幅整備後に指定された「歩行者利便増進道路（ほこみち）」の「特例区域」の追加指定やベンチ設置の検証
- ▶ 沿道の適正化・維持管理活動・滞在空間の創出や、道路協力団体としての実践

を官民連携で実施、官民の役割分担のもと次年度以降の特例区域の利活用を将来にわたって継続していく仕組みを構築する社会実験を実施する



時期：2021年11月3日（水祝）～12月2日（木）  
 場所：道頓堀1丁目（道頓堀川）～難波5丁目（難波西口交差点）の御堂筋沿道（約450m）  
 実施主体：ミナミ御堂筋の会（大阪市指定・道路協力団体）/大阪市建設局

### 実施目的・検証内容（案）

#### 御堂筋エリア

次年度以降の本格利活用に向け、日常管理・利活用の形態や官民分担を確定させる

① 利活用の持続運営検証

道路協力団体主体となって、さまざまな利活用形態の創出を実現し、持続的なマネタイズやプレイヤーの参画・開き起こし、ルール等を検証

② ベンチ等常設化・日常管理の検証

ベンチ、植栽・遊具等設置等の日常的な利活用の検証を実施し、常設化・本格設置に向けて官民の役割分担を確定

沿道コンテンツからの魅力創造の実践（ミナミ御堂筋の会独自企画）

ミナミ御堂筋の会が沿道地権者・テナントと連携し、コロナ禍におけるアイデア・シーズンを狙った沿道のコンテンツ（アート等）から魅力創造へつなげる実験を展開する

#### 御堂筋・駅前広場+ミナミアリア

社会実験とあわせてデータを取得し、今後の整備や回遊促進に活かす

③ コロナ前後の回遊データ取得

コロナの影響が続くことも念頭に、コロナ前のインパウンド率街書、コロナ後の日常的な歩行者の通行、回遊データを取得→社会実験や将来的な整備計画などのような仕掛けが必要かを議論する材料に

④ 経路等の空間データ取得

御堂筋やなんば駅前広場を基点に、回遊創出の仕掛けを議論する材料となる空間特性データを取得  
 ⇒ウォークアルミナミに向けた回遊促進策・アートの利活用方策へ

回遊性創出研究会で共有⇒今後のエリア回遊策検証へ反映

### 回遊性創出研究会（10/20 開催結果概要）

社会実験「御堂筋チャレンジ2021」及びなんば駅前広場の社会実験でのデータ取得の計画、連携する大学の研究内容について共有した。

- ▶ データ取得のアウトプットとして滞在性、東西への人の回し方、歩くエリア多様化への作用、不法駐輪の抑制効果やシェアサイクルへの転換効果、カフェストリート等へのネットワーク効果、集客効果などが重要
- ▶ 個人情報などの扱いも含め、地元が主体となってデータ検証・活用等を行っていくと良い
- ▶ 学生の研究を地域の方々にも還元する場が必要

### 意見

- ◎ 今回の社会実験は、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響でにぎわい創出を回避する面があるが、将来的なにぎわいが見えなければビジネスは生まれないと感じる。
- ◎ 事業を行う上では、大義が非常に重要だ。自転車問題、歩行者と自転車との輻輳問題等の解決こそが目標であり、引き続き、取り組むことが必要。歩行者空間は広がったが、自転車等の課題は再び生じると思われる。サイネージ等で収益を確保し、会として駐輪対策等に継続して取り組みたい。
- ◎ 最近、エリアマネジメントの考え方に賛同する企業が増えてきたと感じる。道路空間の利活用の手続きは、都度、行政協議するのではなく、エリマネ団体で判断できるようになれば、ビジネス的に非常に動きやすくなる。  
 →ほこみち制度は御堂筋が全国で初めて指定された。道路協力団体としても、社会実験等で信頼と実績を重ねていく段階にある。今回の社会実験も信頼と実績につなげ、利活用の手続きの整理につなげていきたい。（事務局）

## 2. なんば駅前広場社会実験

なんば駅前広場では、2016年に引き続き、なんば駅周辺の交通荷捌きの運用や安全性、歩行者空間の利活用を検証するための社会実験が実施されます。

【実施時期】2021年11月中旬から2週間程度(予定) 【実施主体】大阪市 建設局

- 【実施場所】      の場所では、乗用車は24時間通行ができなくなります  
貨物車両は時間により通行ができなくなります
- の場所では、交通荷捌きやタクシー乗場等の検証が行われます



## 3. 道路空間再編について

今月、それぞれの区間の御堂筋沿道協議会が開催されました。その協議内容について、事務局より報告しました。

### 道頓堀川～千日前通区間 + モデル区間 (協議会: 10/5)

- 【西側】・10/7より、道頓堀川～千日前通区間の側道が閉鎖、歩行者空間化の工事が着手される予定である
- ・東側での工事と同様に、貨物車限定で荷捌き可能なスペースが運用される
- 【東側】・道頓堀川～千日前通区間の工事の最終的な完成は、2022年1月末頃が目標となっている
- ・荷捌きスペースから歩道へアクセスできる通行道は2箇所確保されているが、工事のため1箇所しか使えない時期がある

### 道頓堀橋北詰～長堀通区間 (協議会: 10/8)

- ・タクシー乗降については、実際の利用状況を調査し、データを元にシミュレーションを行う等、綿密な検討が進められる予定である
- ・車両の駐停車、駐輪場について議論が行われ、設計に向けて関係各所が連携して進めている

## 4. その他 報告事項

### (1) 新規入会のお知らせ

松竹株式会社様 【2021年10月 賛助会員としてご入会】

### (2) 会議の開催結果について

大阪エリアマネジメント活性化会議 安全・安心部会 【9/30 WEB】

「エリアマネジメント団体における防災に関する取組」「デジタルサイネージ等を活用した実証実験」について議論しました。次回の「安心・安全部会」は12月に開催される予定です。

御堂筋パークストリート推進会議 事務局会議 【10/6 開催】

11月に実施される御堂筋沿道・なんば駅前広場の複数の社会実験について、情報共有・意見交換を行いました。また、御堂筋沿道のパナー掲出のルールづくりに向けて、意見を交わしました。

### (3) ミナミの不動産動向について

飲食店への営業時間の短縮要請が解除され、ミナミ御堂筋にも人出が戻りつつあります。ミナミの不動産動向について、シービーアールイー株式会社 中嶋様より情報提供いただきました。

**情報** 緊急事態宣言が解除され、様々な企業が大阪に視察に来て、実際の大阪の街を確認されている。違法駐輪の状況等も含め、街の雰囲気や印象が重要になってきているので、この時期に、街を良くする運動や、新しい取り組みを発信することで、存在感がより高まると考える。



▲ 定例会の様子

- 定例会参加者**  
【会場】難波日興ビル
- 【正会員】湯川(三菱商事・ユービーエスリアルティ(株))、小林((株)泉屋商店)、奥内((株)オクウチサービス)、高橋・福崎((株)スポーツカハシ)、藤本((株)播重)、奥谷((株)三栄建設)、藤丸(光明興業(株))、吉田((株)ベルコ)
  - 【賛助会員】多田((株)ケシオン)、武村(コカ・コーラボトラーズジャパン(株))、中嶋(シービーアールイー(株))、李・藤田(松竹(株))、磯野・杉山(大日本印刷(株))、安田(東京建物(株))、島田(東京建物不動産販売(株))、塚本・寺本(西尾レントオール(株))、合志(野村証券(株))
  - 【オブザーバー】門重((株)大林組)
  - 【事務局】中塚・竹林((株)地域計画建築研究所(アルパック))

**次回定例会のお知らせ**      **2021年11月29日(月) 16:00～**      (難波御堂筋ホール予定)  
(社会実験「御堂筋チャレンジ2021」視察等を予定)